

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・興味を引く効果的な教材の選定をしたり、資料の提示の仕方を工夫したりしたことで、調べ学習に意欲的に取り組むことができた。どの学年も自分たちでプレゼンテーションを作成した学習に関連する設問の正答率が高い傾向が見られる。

(2) 課題

- ・体験や見学などの機会がなく、身近ではない領域の設問の正答率に低い傾向が見られた。
- ・複数の資料を結び付けて共通項を見付けたり、判断したりする問題につまずきが見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） △目標値を上回っている ▼目標値を下回っている

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼		
第5学年	知識・技能 △ 思考・判断 △ 主体的な態度 △	(第4学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼	
第6学年	知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼	(第5学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼	(第4学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・観点別「知識・技能」の設問の平均正答率は、目標値に比べて下回っていることから、資料の読み取りや学習内容の理解が不十分であるといえる。 ・地図記号や「交通事故や事件を防ぐ仕事」についての設問の正答率は目標値より高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別「思考・判断・表現」の設問の平均正答率は、目標値を下回っており、資料をもとに考えを表現する設問では、無回答の割合が高かった。 ・「スーパーマーケットの工夫に対するお客さんの願い」についての設問の正答率は目標値に近かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内平均正答率は、ほぼ目標値を下回っている。 ・どの設問にも無回答が見られた。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・5学年では、観点別「知識・技能」の設問の平均正答率は、目標値を「地震からくらしを守る」領域の設問は全て目標値を上回っていた。 ・「京都府の位置と名称」の設問は目標値より下回っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5学年では、観点別「思考・判断・表現」の設問の平均正答率は、目標値に比べて5ポイント以上、上回っており、「節水のための工夫」や「ごみを減らす取り組み」の設問は目標値を大きく上回っていた。 ・「明治用水の工夫」の設問 	<ul style="list-style-type: none"> ・5学年は、総合の学習で取り組んだSDGsの内容の理解が深まっている。社会科の平均正答率は目標値より5ポイント以上、上回っている。 ・6学年は「地産地消の意味を説明する」記述式の問題で、正答率が目標値より

<ul style="list-style-type: none"> ・6学年では、観点別「知識・技能」の設問の平均正答率は、目標値を下回っていた。「日本の国土と人々の暮らし」の領域や「日本の水産業」について、学習したことの定着が図れていない。 ・「米作り」や「自然環境を守る取組み」についての設問はよく理解している。 	<p>は目標値より大きく下回っていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6学年では、観点別「思考・判断・表現」の設問の平均正答率は、目標値に比べて下回っていた。「輸送手段の特徴についての表を読み取る」設問は目標値より約10ポイント程度下回っていた。 ・「自然環境を守る取組みについて適切な資料を読み取る」設問は目標値を大きく上回っていた。 	<p>1. 4ポイント上回っていたが、無回答の児童も25パーセント程いた。</p>
---	---	---

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会に地図記号や四方位について触れることで、社会科に関する基礎知識の定着を図る。 ・資料や地図の読み取り方についてみる視点や活用する方法を具体的に指導する。 ・可能な限り実体験できる機会を設定する。実体験できない分野は、デジタル教材などを活用して、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の学習から、視点を定めて学習のまとめや学習の振り返りを書かせる活動を行う。 ・学習してきたことを基に自分の言葉でまとめたり表現したりする活動を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の終末では、「自分ができること」「自分が伝えたいこと」などをテーマにまとめを児童一人一人が考え、学習意義を価値付けていくことを繰り返す。 ・事前にテストの形式に慣れさせるようにする。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味に合わせて都道府県に触れることができる機会を増やし、知識の確実な定着を図る。 ・日本の地形と気候の特色について、資料や動画を活用し、身近な生活体験と結び付けながら学習させる。 ・重要語句について学習の中でノートに書かせることで知識を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表が出てきた時に、縦軸と横軸が表しているものを確認する。表しているものや数値を正確に読み取らせ、どんなことが分かるか確認する。 ・単元の最初や最後には、経験や既習事項をもとにして、社会的事象について予想したりまとめたりする機会を設ける。 ・普段の学習から、視点を定めて学習のまとめや授業の振り返りを書かせる活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の学習で、資料から分かることや自分の考えを書かせる活動を取り入れ、調べる際に自分に合った方法を選択することで、意欲的に取り組めるように工夫をする。